

平成27年度第2回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 平成27年8月25日(火) 午後5時～午後6時18分

場 所 保健センター1階大会議室

出席委員 15人

会 長	南 道 子 委員	
委 員	酒 井 文 子 委員	雀 部 かおり 委員
委 員	鈴 木 祥 江 委員	高 木 有 希 委員
委 員	鳥 羽 浩 子 委員	松 嶋 あおい 委員
委 員	島 崎 聡 子 委員	吉 田 千 晴 委員
委 員	志 田 尚 紀 委員	土 屋 直 己 委員
委 員	渡 辺 悟 委員	松 井 大 平 委員
委 員	齊 藤 幸 穂 委員	柿 崎 健 一 委員

欠席委員 1人

菊 谷 武 委員

---

事務局職員

健康課長	<u>高 橋 啓 之</u>
健康課主査	<u>平 岡 美 佐</u>
健康課主事	<u>田 中 昌 子</u>

---

傍 聴 者 1人

(午後5時 開会)

○南会長 皆さん、こんにちは。定刻となりましたので、始めさせていただきます。

お忙しいところ、出席ありがとうございます。

それでは、これより平成27年度第2回小金井市食育推進会議を開催させていただきます。

初めに、委員の出席と資料の確認を、事務のほうからお願いいたします。

**○平岡主査** 本日の委員の方々の出欠でございますが、菊谷委員1名の欠席のご連絡をいただいております。また、高木委員が、若干遅れております。

現在、会長を除きまして13名の委員の方の出席となっております。過半数以上の出席をいただいておりますので、審議会としては成立することをご報告いたします。

それから、資料についてでございます。本日、机上に配付させていただいたものとして、次第、食育推進会議議事録案、小金井市食育推進基本条例第14条第2項の規定に基づく提言（案）、それから、農業祭のご案内と「小金井 江戸東京野菜かわら版」、また、健康課からの事業のご案内のチラシ、こちらのほうを配付させていただいております。

**○南会長** よろしいでしょうか。

**○平岡主査** 不備があるとか、何か資料がないとか、ございますか。よろしいでしょうか。

本日、審議予定でありました、小金井市食育推進計画進捗状況報告（平成26年度実績分）についてですが、大変申しわけありませんが、今回の報告を見送り、次回の報告とさせていただきたいと考えております。各課の進捗状況の取りまとめを行いましたところ、回答内容を一旦精査する必要があることがわかりまして、現在、再度、各課のほうに回答内容の確認をお願いしているところでございます。

また、前回の会議資料についてもお持ちいただきたい旨、開催通知のご案内させていただいております。過不足等ございましたら、事務局のほうにお願いいたします。

大変申しわけございません。以上です。

**○南会長** よろしいでしょうか。

議事に入る前に、事前に送付された前回の議事録案について、各自確認していただいたと思うのですが、今、手元にあるのは、本日までにご指摘いただいた点を訂正したものが配付されているものです。確認いただき、会議の終了までに、何か訂正がありましたら事務局のほうにお願いいたします。完成したら、事務局のほうで情報公開の手続を始めていただきたいと思いますと思いますが、今のところ、いかがでしょうか。

まだ確認されていないということで、最後に、また確認させていただきたいと思います。

続きまして、意見・提案シートについて、事務局からの報告をお願いします。

**○平岡主査** 本日の会議に関する意見・提案はありませんでした。

以上です。

**○南会長** ありがとうございます。

では続いて、本日の議事についてですけれども、（１）小金井市食育推進基本条例第１４条第２項の規定に基づく提言について、（２）食育コーディネータについて、の２点があります。

それでは、１番目の議事に入ります。小金井市食育推進基本条例第１４条第２項の規定に基づく提言について、事務局からお願いいたします。

○平岡主査 それでは、「小金井市食育推進基本条例第１４条第２項の規定に基づく提言（案）」について、簡単に説明させていただきます。

酒井副会長を中心に、自主的勉強会を３回開催しました。勉強会では、これまでの会議で審議した内容を踏まえ、ライフステージごとの食育活動の実績や進捗状況について確認をするとともに、「具体的な施策の展開」に焦点を当て、小金井市における食育の課題等について検討を行い、提言の素案を作成いたしました。

お手元の提言（案）の１枚目をおめくりください。こちらは、「「小金井市食育推進計画」を推進するための施策の展開について」と題しまして、これまでの自主的勉強会を開催した上で、この施策について審議会として取りまとめたので、以下のとおり提言しますという、簡単な「はじめに」の言葉がありまして、その下が「提言」になっております。

提言の（１）小金井市食育ホームページの更なる充実と周知の強化。

こちらでは、主に下の箇条書きの５点を要点として挙げさせていただきました。

- ・低栄養の情報や、咀嚼困難者でもとれる野菜のレシピ等の情報提供。
- ・乳幼児向けに、量の目安をのせた食事のレシピの提案。
- ・レシピについての栄養情報の充実。
- ・離乳食や生活習慣病予防食等の提案。
- ・食育基本法の紹介と解説。

このようなことを掲載することにより、食育ホームページの更なる充実と市民の方々への小金井の「Koganei-Style」の食育の周知の強化につながるのではないかという提言として、まとめさせていただいております。

（２）乳幼児期から学齢期、及びその保護者への食育推進の継続。

こちらでは、次ページをおめくりいただきますと、３点、提言の柱として挙げております。

- ・バランスのよいお弁当や補食の内容・作り方等、乳幼児の保護者向けの食育の提案。
- ・児童・生徒が生活で実践出来る食育の提案。
- ・食事マナーや食選力等家庭での食育の重要性の普及啓発。

という３点を挙げております。

(3) 高校生から主に若い世代の成人を対象とした食育の強化。

こちらでは、高校生から若い世代というところが、なかなか市として、食育推進会議として、情報を発信しづらい世代であるという難しさも、自主的勉強会では検討されました。その上で、4点の提言をまとめました。

- ・若年単身者への食育の強化。
- ・高校生・大学生向けの食育の強化。
- ・男性向けの調理実習の実施。
- ・「今食べているものが、未来の体をつくる」ことに気付く食育の提案。

こちらの4点が提言としてまとめられました。

(4) 若年女性の「痩せ」についての食育啓発。

こちらでは、主に3点、提言としてまとめられました。次ページをおめくりください。

- ・若年女性が集う場所での情報提供や学校等での食育ポスターの掲示。
- ・正しいダイエットを切り口とした媒体の作成。
- ・妊娠期の情報提供の充実。

この3点が提言としてまとめられました。

(5) 高齢者の食育の強化。

こちらは、主に低栄養とか咀嚼の問題が出てくる高齢者に対し、どのように食育の展開をしていくのかということが勉強会のほうで討議されました。こちらでは、大きく分けて4点の提言をまとめました。

- ・高齢者の低栄養についての食育の提案。
- ・地場野菜を使った嚥下食（高齢者や障害者向け）の開発と地域展開。
- ・高齢者向け配食サービスについて、残菜量の確認や適した形態（やわらかめのご飯、煮物等）の提供、体重測定など低栄養予防の提案。
- ・調理を行う機会がなかった世代、調理をしなくなった世代（特に男性）向けに、基本的な栄養・食事作りの普及啓発。

ということがまとめられました。

本日出席の委員の方々に、自主的勉強会等、参加をされた方もいらっしゃいますので、また、参加されていなかった方も、お考え等ご発言いただければと思います。

事務局からは以上です。

○南会長 ありがとうございます。

では、勉強会に参加された方で、素案の内容についてご説明とか補足がありましたら、ぜひこの場で

お願いしたいんですけども、いかがでしょうか。

○平岡主査 勉強会に参加されていない方で、今、ほんとうに大ざっぱな説明で大変恐縮だったんですけども、何かご意見等、また、新たな視点でなくとも、こういったところが盛り込まれてよかったとか、もしご意見がありましたら、ご発言いただければと思います。

○南会長 また、この場で今、何か思いついたことがありましたら、お願いいたします。

勉強会に参加されたのはどなたですか。ほとんどの方なんですわね。

○平岡主査 そうですね。はい。

○南会長 私は、すみません、ちょっと授業があったので。

では、多くの方が参加されているので、これで全て網羅と言ったらなんですけれども、されていると考えるとよろしいですか。

参加されていない方は何か、今、急に言われても、ちょっと難しいかなと思うんですけども、では、もし会議の途中で気がついたら、ご発言をお願いいたします。

この会議の後でも、何か思いついたということがありましたら、9月25日までに事務局のほうに伝えていただくとありがたいと思います。

○酒井副会長 ちょっと様子だけお話しします。

提言については、皆さん参加された方、とても活発なご意見が出ていまして、多分それで、ここに集約されているので、今はご発言がないのかと思いますけれども、具体的な事例にまで及んで、いろいろ活発なご発言があったということは報告いたします。

○南会長 わかりました。どうもありがとうございます。

では、次に行ってよろしいでしょうか。「食育コーディネータについて」ですけれども、また事務局のほうから、ご説明をお願いします。

○平岡主査 食育コーディネータについてですが、小金井市食育推進基本条例第14条第9項に、「推進会議は、推進計画及び推進会議の方針に基づき関係機関との幅広い連携を促進するため、委員の互選により食育コーディネータ1人を置くことができる。」との規定があります。

コーディネータとは、「ものごとを調整する役の人」を指します。食育コーディネータは、食育に関する活動について情報提供や調整等を行い、小金井市の食育を推進することを目指します。

自主的勉強会においては、食育コーディネータの具体的な役割を検討し、大別して生産者、事業者、消費者の情報をつなぐこと、市内食育関連団体との掌握と情報をつなぐことの2点が挙げられました。

また、各委員の方々が、日ごろの活動の中で得られた情報等を食育コーディネータに提供し、情報共有を図り、食育の推進をしていこうとの意見もありました。

以上です。

○南会長 ありがとうございます。

では、酒井副会長から、食育コーディネータの選任も含めて、自主的勉強会で話し合われた内容を説明していただけますでしょうか。

○酒井副会長 7月21日、火曜日に行われた自主勉強会での「食育コーディネータの選任について」、話し合いが行われた内容についてご報告申し上げます。

先ほど事務局からご説明があったとおり、食育コーディネータの役割には、生産者、事業者、消費者の情報をつなぐこと。少し補足をしますと、ここには学校や保育園、幼稚園などが入ると思います。また、市内の食育関連団体の掌握及び食育に関する情報の提供を適切に行う役割があるとの結論に至りました。

ここで、食育コーディネータについての勉強会での流れを少しお話しします。

その前に、小金井市食育基本条例の内容を決める際に、食育コーディネータが条例の肝になると考え、時間をかけて話し合わせ、「きちんと予算を計上して市民による食育コーディネータを設置し、行政と協働した全国初の試み」を目指していました。

勉強会の中では、食育コーディネータの処遇に関して、複数の委員から経験を踏まえた形で、ボランティアでの活動は厳しいので予算をつけてほしい旨の意見が上がりましたが、健康課さんのほうからは、現状の予算計上は厳しいとの回答がありました。そのため代替案として、どのように、どなたに食育コーディネータをやっていただけるかを検討いたしました。

その結果、現時点で情報やネットワークがあり、外部との交渉や各食育関連団体との連携についても速やかにできるのは行政ではないかということになりました。それであれば、条例に定める「推進会議は、推進計画及び推進会議の方針に基づき関係機関との幅広い連携を促進するため、委員の互選により食育コーディネータ1人を置くことができる。」に合致した推進委員でもあり、健康課を所管する福祉保健部長にお願いしたらどうかという意見が出ました。

このような経過がありまして、勉強会のまとめた案としましては、福祉保健部長を推薦するという事になった次第です。改めて、このことについては今日の審議会で審議いただけますよう、よろしくお願いたします。

私からは以上です。

○南会長 ありがとうございます。

では、今の審議内容を踏まえて、食育コーディネータの役割というものを、まず考えていきたいと思うのですが、今、説明された内容以外に何か、これもやったほうが良いのではないかというご意

見がありましたら、お願いいたします。

ただ、私なんか考えるのは、市の中でどれくらい、こういうことに関する案件というのですか、事柄があるのか、そのリストのイメージが湧かないのですよ。例えば今、幾つくらい、考えていることがありますか。

○酒井副会長 これは、2012年7月に、食育推進議員懇談会というところが各関係機関に食育のアンケートをしまして、それを集計した結果を踏まえて、役割というか、どういうことに必要性を感じているかということ、ちょっと私と雀部委員とで私的にまとめたものがあるんですけども、ここでは10ぐらいを出して、多分もっとあるかと思うんですが、ちょっと具体的になってしまうんですけども。

まず、JAと保育園・幼稚園・学校・児童館・高齢者や障害者の各団体施設がつながり、農業体験や生産者の話を聞く機会をつくる窓口となる。现阶段では個人的なつながりが頼りで心もとない状況。園庭のない保育園も多いという意見がありました。

それから、JAと事業者をつなぎ、農業体験や情報交換の場をつくる。これは、地場野菜への理解を深めてもらう。小金井らしいメニュー加工品開発などにも役立つということで、意見がありました。

それから、子供たちと生産者や学校同士との交流の場をつくる。一つの例としては、給食時間に共食するなど。生産者は納入するだけでなく、そういう場で給食と一緒に食べたりすれば、反応を見ることができたり、児童の給食留学生、ほかの学校で給食を食べる、ちょっとこれは突拍子もないことかもしれないんですけども、そういう話もありました。

それから、公立・私立保育園の意見交換の場をつくる。他園の取り組みの事例はお互い参考になるということで、これは一度、保育課で、私立と公立の保育園と幼稚園の関係者の皆さんに集まっていた場に、私と雀部さんと農業関係者の高橋さんという方が出席させていただいて、意見交換をする場実際に立ち会ったんですが、皆さん、とても有意義だったというお話をされていました。

それから、情報が手に入れやすい紹介の場をつくる。他の施設・他の市町村の取り組み・放射能測定値など、各自の取り組みについてを生かしてもらう。情報によって、いろいろ取り組みをしている人たちに生かしてもらうという意見がありました。

それから、食に関する専門家の紹介。それぞれの専門分野を把握している人材バンク的な要素。団体からの要請に対して助言できる人材を紹介。そういったこともしてもらえるといいのではないかという意見があって、例として、大学の先生や食育活動をしている市民をゲストティーチャーに呼ぶという、これは学校とか保育園・幼稚園の場合になるんだと思います。

それから、保育園・幼稚園と小学校の連携。保育園で、食育でいろいろなことをやっていたり、幼稚園

で独自のことをやっても、小学校に上がるとそこで、継続して何かをやっていくというのが切れてしまうので、お互いに継続ある取り組みについて話し合いの場があると、よりよい乳幼児から学童の人たちへの食育のよい状況がつけられるのではないかなということ、現在はないので、そういうものがあつたらいいなという意見がありました。

それから、医療機関・行政・配食サービス提供者との連携・情報交換の場をつくるということで、これは先ほどの提言の中にもちょっと反映されて、配食をただ配るだけではなく、残菜とかをきちんと把握できたり、それを医療機関とか行政につなげるような情報交換の場をつくるという意見がありました。

それから、町会や高齢者施設と医療機関の情報交換の場をつくる。これも、町会とか高齢者の施設は、やはり独自で動いていらっしゃるところが多いので、それを連携させる情報交換の場をつくるということも重要ではないかという意見が、これはそういう関係者の方からの意見だと思います。

それから、市民（家庭）に対しての関係各課・保育園・幼稚園・小学校・中学校からの、行政的にはアプローチの難しい部分の検討や橋渡しを行う。家庭で実践してもらいたいことの周知とか啓蒙の役割を担うというような意見が出ていました。

これは、その中で抜粋して挙げていたものですが、このとおりの意見を抜粋して挙げています。ちょっと早口で読んでしまったので、わかりにくいかもしれませんが、そういうことがアンケートの中から、ありました。

○南会長 福祉部長にこれらの仕事をお願いしたいということなのですね。

というようなことが今、いろいろと挙げられているんですけども、内容についてはどうでしょうか。結構、私なんかも気がつきませんでしたけれども、いろいろ考えればあるかなと思います。

○酒井副会長 このときはいろいろな関係機関に出しているの、その立場立場でいろいろ挙がってきた意見なので。

○南会長 これを定期的に、学校行事にでもかけて、学校とか幼稚園にやってもらうという。

○酒井副会長 ただ、これを全部一遍にというのはなかなか難しいと思いますから、少しずつ……。

○南会長 少しずつ、できるところから。

でも、コーディネータの方1人では、動くのが大変ということはないでしょうか。

○酒井副会長 勉強会の補足なんですけれども、そのときに出た案としては、コーディネータさんの負担がすごくあるんですけども、ここに集まっている人たち一人一人が食育担当という、例えば、団体から来ていらっしゃる方も、その団体の中で食育担当という役割を担っていただいて、いろいろなことをコーディネータさんと一緒につなげていければいいかなというような話が出たと思うんですが、ほかに補足があれば、お願いします。



○雀部委員 では、補足します。

もともとコーディネータの話が出たのはなぜかという、新たなことを始めなければいけないとか、今やっていることを否定するとか、そういう意味ではなくて、食育の活動をいろいろなところでされている方だったり、いろいろな活動をされている団体が、単発花火で、やっていることも市民はよくわからない。やっている人たちは盛り上がっているんだけど、やっている内容を知られているかという、知られていなかったり、こことここをつなげばもっとよくなるのにという、そんなに難しいことではなく、よくなるのにというのが、なかなか生かされていない。だから、既存にあるものをうまくつなげるというのが一番の大きな役割かなと思います。

定番中の定番の話になるんですけども、児童館とか小学校の芋掘り一つとっても、どんどん近隣の歩いて行ける農家さんが宅地化されて、歩いて行けるところに畑がないというふうになった場合に、今までつながっていた、つてというのが全部個人的なつながりなんですね。個人的なつながりをもとにして、なので、随分心もとないというか、つないでくれる方がいなければ、また一から仕切り直しとか、農家さんも、どの方がやってくれて、どの方はちょっと引き受けられない事情があるのかということも、頼みたい側としてはわからないということがありました。

なので、それぞれの機関に直接問い合わせる。例えば、JAにお芋掘りのことを問い合わせればいいのかもしいですけども、全体を把握されている方というのも、なかなか今まではいらっしゃらなかったですし、それがもしあったとしても、誰か一人に言えば、この人に聞けばちょっとわかるかなという人を立てるほうがいいんじゃないか、聞く側としては聞きやすいんじゃないかという話が出たんですね。

データとして持っているという意味では、例えば、食育団体登録制度というのがあるんですけども、それで、いろいろな食育の活動をされている団体とか個人は登録されているので、この人は、例えば私ですと、離乳食の講習会をやっていたりするので、離乳食が専門だったり、子供たちに向けた料理教室をやっているの、料理教室ができたりとかという、個人の能力だったり、団体の特性だったりというのを把握できる情報、データはあるので、そのデータをうまく使いながら、それをまた活発化させながら、つないでいく役割が一番多いかなと。

だから、新たに何かを立ち上げるというのではなくて、ただ、情報を持っている人が今、核になる人が欲しいなと思うというような形が、コーディネータがまずやる役割になるから、先ほど酒井さんがおっしゃっていたのは、かなり具体的な案で、できたらそうしたらいいねとなるんですけども、保育課の話も先ほどありましたけれども、私立と公立の保育園は今まで意見を交わしたことがないというお話をちょっと聞いたんですね。

そのときに、では一度、会議を持って、2時間ぐらいの会議ですけれども、会議の場所を持って、市役所でやったんですけれども、会議の場所を持って話して、交流の場を一回つくればいいんじゃないということで、交流の場をつくったら、あちらの保育園はこういうことをやっているんだとか、うちはこういうことをやっているというのを、栄養士さんや園長先生が実際にお話ししてくださったんですね。それがすごくおもしろかったり、うちの園でもやらせてもらおうという参考意見になったりしたので、一回の会議を持つだけで随分変わったなという印象を持ちました。

なので、そういう意味で、つなぐというのが、コーディネータが一番できたらいいなと思うことだなと思います。個人でやっている方も、それぞれ分野がいろいろ違ったり、団体もそれぞれ、実質的に動いたり、例えば知識を持っていたり、特性があると思うので、そういう方をうまくつなげる。そのデータの核となるのは団体登録制度かなと私は思うので、もっと団体登録制度にいろいろ参加されて、そこの中でも一回、懇談会を持たれて、より動きやすいような形にしていけばいいかなと考えます。

具体的な例で言うと、ある方に、小学校でスポーツをなさっている息子さんがいらっしゃる方なんですけれども、スポーツと食育についてお話ししてもらいたいと。サッカーをやっていたり、野球をやっていたりする場で、親子に対してやってもらいたいと。子供にも、自分の食を気をつければスポーツのパフォーマンスが上がるという意識を持ってほしいということで、そういう講演会を開いてほしいんだけれども、誰に頼んだらいいかわからないというんですね。個人的なつては知らない。

私がかたまたま食育をやっているので、そういう人を知りませんかと言われて、そのぐらい、今、心もとない状況なので、私もお答えできれば、あれなんですけれども、なかなか専門の方を知らなかったり、なので、もうちょっとそういうのが風通しがよくなるといいかなと。こういう人を知っているよというふうに言える、駆け込み寺ではないですけれども、ここに頼むと打開策が見えてくるかもという場所があったらいいかなと思います。

だから、データをまず把握。市内のデータを、どういう団体があって、どういう個人がいてとか、どういうことはこういうところできるとかというのを把握していただく場で、その方1人に、先ほど言ったように、負担がかかると大変なので、例えば、先ほどJAさんのお名前が出ていたので、JAさんだと、JAで食育担当の、この会議に出ていらっしゃる方に担ってもらうのが一番手取り早いかなと思うんですけれども、食育担当になってもらって、都の農家さんだと、このエリアだと紹介できますよとか、芋掘りだと協力していただけますよというデータを集めていただいて、それを提供できるようにするという2段階方式みたいにできれば、随分、コーディネータだけの負担というのは減るのかなと思います。

以上です。

○南会長 ありがとうございます。かなり具体的な例を説明していただいたのですけれども、第1回目の食育推進会議、第1回目と言ったらなんですけれども、以前、大竹先生（前会長）のときに持ち上がった話ですね。

○酒井副会長 そうですね。

○南会長 新たに今回からの方は、ちょっとその辺の話が見えていない方がいたと思うのですけれども、今の説明でかなり具体的なことがわかってきたかと思うのですけれども、いかがでしょうか。

今のような内容以外に、急にまたここで思いつくということも難しいかなと思うのですけれども、これも、もし思いついたら、9月25日まででよろしいですか。

事務局のほうに一報していただければと思います。

○酒井副会長 今の話の中で、ご自分たちが思い描く役割みたいなものを、お一人ずつ聞いていただけるといいかもしれないですけれども。

○南会長 よろしいですか。でも、私は何か、さっぱりわからないかなという、ちょっと、どういうことをするのかという、ほんとうに思いつかなかったものですから、市内のことですよ。

○雀部委員 市内だけでいいと思います。それ以上はできないと、なかなか。

○松嶋委員 松嶋です。今、お話を聞いていて、シンプルに言うと、まず、データを集めること、それから、ニーズの掘り起こしと、それから、ニーズがあって応えるだけではなくて、提案というか、こういう活動をしている方に、こういう方がいますよというふうにコーディネータのほうから提案する。例えば、こういうイベントがあったら、こっちにも同じような趣旨のイベントがあれば、コーディネートして、コラボしてやっていただく機会をつくるとか、この人とこの人を結びつけると新しい何か生まれる、関係性が生まれていいのではないかとということも、だんだんと情報集約してくれば、わかってくれば、コーディネータお一人でということではなくて、この会議の中でも、こういう団体を知っていますよということとこういうニーズがありますよということの、それ自体の結びつけ、例えば、お芋掘りであれば、具体的な例ですけれども、ニーズがないところでも、提案があればニーズが後から出てくることもあると思うので、そういうふうな活性化というか、人材の活用の幅を広げるというようなことも、コーディネータの方には、していただけるといいなと感じました。

○南会長 ありがとうございます。

では、まず、いろいろな事業者とか学校に、食育に関する取り組みで、どのようなことができるか、どのようなことがしたいかというアンケートなり、意見を聞くというのが最初ですかね。やりたくもないのに押しつけるというわけにもいきませんから、そういうデータ収集をまずやっていただく。それで、マッチングを、できるところは考えるということですが、例えば、それを1人のコーディネータ

にやっていただくというのも、何か大変な気もしないでもないのですけれども、健康課全体でそういう取り組みは……、お願いします。

○高橋課長 今、勉強会のほうでございました、福祉保健部長にコーディネータをとということは、私のほうでも全く想定していなかったことではなくて、結局、今までの酒井副会長や雀部委員、松嶋委員の話を聞いていても、情報はどこに集まってくるのかなということを見ると、現時点では、私たちが持っている情報というのはそれなりにあるし、私たちを核としたネットワークというものもそれなりにあるんだらうと思っているので、その上で、この条例に規定されたコーディネータという役割が福祉保健部長に振られるとするのならば、我々は組織的に、健康課という組織として動きやすいのかなという思いはしております。

ただ、皆さんの期待ほど、充足するほど初めから動けるかどうかという、そこは申しわけないですが、正直言って、現時点で、私自身がすごい自信を持っているというわけではないんですね。というのは、今までそういう位置づけということをきちっと決めてやってこなかったというのもありますし、ほかの市等々も含めて、こういう形で役割を定めていくということはあまり例がないことだと思っているので、コーディネータということに対しての具体的な活動イメージというのが、会長もおっしゃっているように、ちょっとイメージしづらい部分があります。

ただ、今、お三方がおっしゃるようなことも含めて、皆さんの期待というのは大きいんだらうなと思っています。それで、初めからどこまでできるかということではなくて、今、出された意見なんかも含めて、コーディネート、調整をするというのがそもそもの役割だと思っていますので、ニーズがないところの掘り起こしまで、最初からできるかどうかというのは別問題としても、行く行くはそういうことまで含めたということを視野に入れつつ、福祉保健部長をバックアップして、健康課として組織的な対応をしていきたい。

その上で、もちろん我々のみで対応できないことに関しては、例えば推進会議の皆様にもご協力をお願いする部分もあるだろうし、または、推進会議の皆さんとかぶっていらっしゃる方もいるんですが、小金井市食育ホームページ編集委員会の皆さんの活動なんかにも力をおかりするところは大きいんだらうなと思っていますので、言ってみれば、初めはとにかく、何か大きくがらっと変えるというよりも、これまで、私、健康課に来て2年ぐらいになりますけれども、この間の取り組みなんかを通して培ってきたネットワークとかいうものを生かしながら、食育の取り組みを推進できればなと思っていますので、勉強会で出された今の結論というのは、私としては、受け入れられるというか、納得できるような結論が出たなという印象を持っています。

以上です。

○南会長 ありがとうございます。

ほかにご意見がある方、いかがでしょうか。

○雀部委員 やっぱり1人に負担がかかるというのは、これだけいろいろなところから、ああしてほしい、こうしてほしいと出るのを全部をこなしていくのは大変だと思うので、小さなことからこつこつじゃないですけども、こういうことをやってみましたとか、先ほど南先生おっしゃったように、アンケートをとったり、関係機関にそういうことを聞くというのも前進の一步だと思うんです。

とか、以前とったアンケートがあるので、そういうのも生かしていくというのもそうですし、せっかく年に何回か食育推進会議があるので、そこで定期的に成果が目に見える形で報告を、小さなトピックスでいいと思うので、こういうことをコーディネートしてみましたとか、こういう成果がありましたとかということ、そんな皆さん、全部をいきなり最初から求めているわけではないと思うので、一歩前進している感が一番、コーディネート機能でわかるかなという気がするので、それだけでも、ほかの市に例がないということなので、随分、目に見える形で違ってくるかなと感じています。

だから、すごく大きな報告をしてほしいわけじゃないんですけども、会議の一番最後に、一歩でも二歩でも進んだ部分があれば、報告していただければ会議の中で共有できるかなと思うので、報告してほしいのと、もう一つは、1人にやらせるというのではなくて、これだけのいろいろな機関だったり、個人だったり参加している会議なので、皆さんも協力体制をとってもらって、例えば商工会の松井委員ですと、具体的に名指して申しわけないんですけども、事業者でそういう取り組み、協力できる方をピックアップしていただいて、こういう人だったらすぐ動けるよとか、こういう協力だったらできるみたいだよということを教えていただけたらとか、各団体も少し責任を持って、例えばPTAですと、PTA主催の講演会とかがあったりしますよね。そういうところで食育のこういう話をしてほしいんですけども、誰か知っている人はいないかとかという意見を、どこかの小学校とか中学校で持ち上がったときに、それを吸い上げてくださっているとか、そういうことを窓口になってやってほしいなというふうには、個人的にですけども、感じています。

○南会長 ありがとうございます。

いかがでしょうか。高木委員。

○高木委員 高木です。ほんとうに細かく団体さんとか、例えば、とんぼたんぼさんなんか、田植えをして、稲刈りをして、そういうことをやられている団体さんとか、そういう細かい情報まで集めたりするのか、どこまでなのかというのがいまいち、ほんとうに細かく、ものすごい膨大な情報が集まることになると思うんですよね。それを処理するのはものすごく大変なことだと思うので、例えば、ここにいらっしゃる皆さんの中でも、食育に関心のある方なので、あとは、お子さんが関係機関に所属していて、それぞ

れ違う情報を持たれていると思うんですけども、この中だけでも情報を細かく挙げていったら、かなり膨大になると思うんですね。

それをほんとうに細かく挙げていって、お伝えして処理してもらうのか、それとも、ある程度、何と  
いうんでしょう、策じゃないですけども、ここまでみたいなところを決めるのか、そういうのは特に  
決めたりするんでしょうか、というのがすごく気になります。

○雀部委員 その一つのふるいが食育団体登録制度だと思うんです。例えば、それに参加して、どこか  
と連携したいとか、自分たちのやっている、例えば知識だったり、活動だったりをどこかに提供した  
いなと思っていらっしゃる方々はそこに登録するでしょうし、もう一回登録を、今、ちょっと休眠状態  
なので、会も開かれていないので、そういうのをもう一回、ふるいだと思って、私たちは個人的に活動  
しているからいいわという方々はそれでいいと思うんです。別に手を広げる必要がないと思っていらっ  
しゃる方はそれでいいと思うんですけども、ちょっとどこかにつながりたいとか、何かのお役に立ち  
たいと思っていらっしゃる方がいたら、そこに登録してもらおうというのがまず最初の一步なので、それ  
が一つのふるいかなと思うんです、最初は。

○高木委員 知ってもらうために。

○雀部委員 確かに膨大であると思うので、はい。

○高木委員 ありがとうございます。

○南会長 ありがとうございます。

○高橋課長 ただいま雀部委員のほうから団体登録の話が出ましたけれども、これは私も課題だと思っ  
ていて、まさに雀部委員がおっしゃる休眠状態ということで、立て直していかなければいけないだけ  
けれども、一つのこういうデータというのはきっかけにもなると思うし、それと、団体登録に向けて、行  
政、我々だけが、例えば、市報で案内するとかホームページに載せるということだけではなかなか広ま  
っていかないの、そういったところは皆さんにもご協力をお願いしたい部分だと思っていますし、こ  
れは多分、保健所さんのほうで今年、野菜350グラムの登録店の募集をかけていらっしゃると思うん  
です。ちょっと前に聞いたときには、まだそんなに登録数が多くなかったとされていて、そういうもの  
も一緒に、小金井市内に広げていけるような動きにつながっていくといいのかなと思っています。

なので、一つの切り口として、その登録団体を増やしていく。その中で、最初は行政主導になる部  
分もあるのかどうかわかりませんが、行く行くは自立的なネットワークとして、動きが出るよう  
になっていけばいいのかなと思っています。

以上です。

○南会長 ありがとうございました。

ほかにご意見はありますでしょうか。

○鳥羽委員 鳥羽です。先ほどいろいろな意見が出ているんですけども、今の食育推進会議の委員の方々は、それぞれの専門分野の方が代表としていらっしやっていますよね。ですから、自分の各専門チームのところ、この人はこういうことができるという案とか、そういうのはわかっていらっしやと思うので、そういう方たちをその方が把握していただいて、組織編成みたいなものをつくって、何か提案がありましたら、そちらのほうに健康課から振っていただいて、大きなものにしていくというような形はできないのでしょうか。

いろいろなご意見が出ていますけれども、皆さんは多分、専門でいらしているの。

○南会長 そこは、ですから、情報を集めるということで、さっき説明した中に、そういうことも入ると思うんですね。事業者団体でどういうことができるか、どういうことをしたいかということ、まず、アンケートをとるといいますか、と思いますので。

○鳥羽委員 はい。

○南会長 ほかに、例えば事業者側から、いかがでしょうか。今、いろいろ意見が出たのですけども。

○松井委員 松井です。勉強会のときもその話をしたような気がするんですけども、こういうことをしたいよとか、ああいうことをしたいよというようなものというのがやっぱりあるんですね。僕らもあるし、皆さんもあったりして、そのところがどうしてもうまくつながらなかつたりするんだと思うんですね。

例えば商工会なんかでしたら、僕らもそうですけれども、要は、サッカーの中村俊輔とか、真ん中のところへパスをぱっぱと出す人がいるわけじゃないですか。その人に僕らがなればいいと思うんですけども、各自のネットワークの中で、それを持って、例えば、「松井さん、何かイベントをやりたいので、どこか協力してくれるお店、ありますか」と言われたときに、ここがいいかなとか、人数の規模だったらここでできるかなとか、そういう手数は幾つか持っているの、可能だと思うんです。

ただ、僕のところまで、ふだん、つながらないんですよ。市から、例えば、何かこういうのをやりたいんだけどという相談が来たことはあまりないですし、一般の方からもなかなかそういうことはないと思うので、市が窓口として1個、コーディネータという名前があって、こういう相談をすると、とりあえず商工会の人だったら、誰かここにつないでやろうとか、農業の人だったらここにつなごうという、中村俊輔を知っている人がいてくれればいいので、多分、そんなに難しくなく、できてくると思うんですよ。

この前もちょっとお話したんですけども、夏のお祭りのときに、農家のヨコヤマさんで、こちらのお子さんがヨコヤマさんのところで夏の野菜の収穫体験をするという話があって、それだけではつ

まらないと、そのお母さんたちは思ったらしいんですね。何かないですか、ちょっと売ったりしたいんですねということで、たまたまそのお母さんの中で僕と知り合いの方がいたので、では、商店街のお祭りが今度あるので、ちょっと聞いてみるよということで、来てくれたので、うん、やろうよと言って、場所とか提供して、こういうふうにやったほうがおもしろいよと僕も提案をしてあげてという形で、3週間がかりぐらいのイベントになったんですけども、収穫して、袋詰めして、商品化をして、売って利益を出して、そのお金を持ってお祭りで遊ぶというところまでやらせたんですけども、わりと楽しく過ごせたみたいだったんですね。

そこの僕に当たる人を知っているのがたまたまいたから、そういうことができたわけですけども、それを知らなかったら多分、そこまできなかつたはずなので、食育コーディネータと呼ばれるところにつく方が、100個、手数を持っていなくても、幾つかだけでも、学校だったらこの人にお話ししようとか、商工会だったらこの人に話をしようとか、農家の方だったらここにしようというのを幾つかだけ持っていれば、多分、それで済むと思うんですね。

ふだんも、松嶋さんなんか昔からお会いしていますけれども、僕のところに会いに来てくれたんですね。僕も会いたいと思えば会いに行くし、会いたいと言われれば会っていますし、そういう人間がいろいろなところにいるので、その核になる人を幾つか押さえてもらえば、ほんとうにうまくいくと思うんですね。なので、ぜひこの形でやれたらと僕は思います。

○南会長 単発だけ、ある人がこれをやりたいからというので、それで、たまたま知っているから、今回のことはできたと思うんですけども、こういう事を、例えばお祭りだったら、毎年あるわけですね。だから、それを……。

○松井委員 そうですね。だから、僕なんか、例えばイベントをやろうとか、見ながら話して、こういうのできるかなんていう話をよくして、そうすると、「松井君、それなら何とかさんができそうだよと言っているよ」と言ってくれる人がいたりするので、そういう人と話をしているんですけども、一番嫌なのは、こういうのをできませんかねと相談しに行って、それはちょっと難しいよとか、そんなのやったことがないから無理じゃないかとか、そういうことを言われちゃうのが一番つまらないので、そういうところにはもともと行かないんだけど、何かやり方がないかなと言って、一緒にやってくれそうな人とふだん話をしているんですけども、つまらないことを言う人のところに行っちゃうと、そこでとまっちゃうので、こっちにボールを振れる人をうまくピックアップしてもらいたいかなと思うんですけどもね。

○南会長 今、松井委員が言ったような対応を、健康課で情報を蓄積して、次のお祭りのときに……。

○松井委員 そうですね。例えばお祭りだったり、イベントだったり。



○南会長 また同じようなことができないかというのを計画してもらうとか。

○松井委員 情報として、うちなんかだと経済課の方とおつき合いがあるわけですけども、そうすると、経済課の方なんかでも、市内でイベントがあると絶対いる人って、いるんですよ。個人的にちゃんと子供を連れて遊びに来ているという人が必ずいて、そういう人のところに話をすると、今度紹介してあげるよとかいう話になるんですよ。

なので、やっぱり健康課の方なんかも、食育だったり、健康に関することだったりというものを、1人が全部行くわけにはいかないと思うので、なるべく顔を出していただいて、キーとなる人を見つけてもらうといいかなと思います。

ただ、食育団体の登録という制度があるということであれば、そこの部分を再強化して、まず、吸い上げていく。その中で、コミュニケーションをとりながら、この分野のことはお願いできるかなというニュアンスはつかんでおかないといけないと思うので、そこのところなんですよね。全部、コーディネータの方がやるのは無理だと思うので、核になる人だけ、幾つかつかんでもらうようにすればいいと思います。

○南会長 健康課でそういう核になる人のリストアップと、それから、今までやられた事例みたいなものの情報を蓄積していただく。それから、これからできそうなこと、やってほしいようなことのアンケート、そういうことをとりあえずやっていただいて、実現可能なところから考えていただければと。一遍には無理だと思うので、少しずつやっていって、それが、年中行事じゃないのですけれども、JAと○小学校で、何か食育関係のことをしますとか、そのような形で、行事としてどんどん回っていくと、あとはコーディネータの負担は少なくなると思います。

○雀部委員 推進会議はどうしても実動ではないので、会議をする場なので、具体的な話をこの人とこの人で進めようというのは難しいので、実動部隊が結局、登録団体だったりするのかと思うので、できれば、ここに参加されている方もダブって入ったりすることもあると思うんですけども、ここは実動の場ではないので、登録団体の懇談会のほうで実際、具体的な話を進めていくという形でもいいかなと思いますし、健康課がリストアップするのではなくて、できれば各団体の方が、こういうことをやってほしいという意見も挙がっているというのを、もし把握している方がいれば書いていただいたり、あと、こういうことができますということを持っていらっしゃる方がいれば、紙ベースでいいと思うので、リストアップして提出するぐらいから始めてもいいのかなと思うんですね。

健康課が一件一件、話を聞いて回るのではなくて、今ある、せっかくここに集まっている方も、食育にかかわっている団体の方ばかりなので、そういう意味では、提出するというのも一つかなと思ったりします。

○南会長 ありがとうございます。

いろいろな意見が出ましたけれども、ほかにいかがでしょうか。

○高橋課長 調整なので、相手があることなんですよ。私たちはここで食育のことをやっているの、食育に関しては非常に前のめりというか、前向きな形で議論することができるんですけども、調整をしていったときに、調整の相手先のほうがどれだけメリットがあるのかとか、話に乗っていただけるのか、逆のことを言えば、負担感になってしまうのかというのもあると思っていて、なので、負担感があることだけを押しつけていくような調整の仕方というのはなかなか難しいかなど。無理くり、あるときはできたとしても、長続きしなかったりするんだらうと思っていますので、そういったことも留意しながらやっていく必要があるのかなと思っています。

ここにいらっしゃる団体推薦の委員の方たちなんかも、いろいろなところで食育に関して協力いただける部分と、それ以上はちょっと負担になってしまうとお思いになる部分が多分あると思っていますので、なるべくマイナスの部分がないような範囲で、まずは進めていければいいのかなど。ちょっと具体的ではないんですけども、ぼやっとした基本的なスタンスとして、そのようなことは考えていますので、そういうことを前提とした上で、公募の委員の皆さんも同じなんですけれども、ご協力をお願いできればと改めて申し上げます。

○南会長 ありがとうございます。最初はできるところから、まず第一歩を踏み出そうというところでもよろしいでしょうか。

ほかにご意見がなければ、後で思いついたら、9月25日までに事務局のほうにお願いしたいと思えます。

では、コーディネートの内容については以上で審議を終わらせていただいてよろしいでしょうか。

次に、コーディネータについて、市の職員である福祉保健部長を選任することについて、何かご意見のある方がいましたらお願いしたいんですが。

勉強会の提案どおりでよろしいでしょうか。よろしいと思われる方、挙手願いたいのですが。

○鈴木委員 鈴木です。市民の立場から、食育コーディネータの人に何かささいなことを聞きたいと、部長さんをお願いしますという感じになるのでしょうか。何かちょっと気が引けるというか、突然、市民の子供会でジャガイモ掘りをやりたいとかいって、健康課にかけて、「部長さんいらっしゃいますか」と、ちょっと言いにくいし、忙しそうだなとか、いろいろ……。

○雀部委員 健康課にかければどうですかね。

○鈴木委員 気軽さが……。

○南会長 確かに、ほかの業務もありますしね。

○柿崎委員 仮にここで選任されたとしてということでお話をすれば、私自身はほとんど自分の席にいないような状態が多いです。特に議会中はほとんど、例えば3月、6月、9月、12月と年4回あるんですけれども、その1カ月間は自分の席にいることはまずないです。

それ以外にも結構、福祉保健部長って、こう言うのはなんですけれども、いろいろなところに出ていくことが多くて、先ほどから言われている、情報を共有しながら、いろいろつなげていくとか、あとは、他の方々とのつき合いというのも非常に多い部署ですから、そういう部分では、情報を、個人であったり、団体であったりをつなぐ役目としては、自分で言うのもなんですけれども、非常に適任なのかなと思いますけれども、ただ、実際問題、ほんとうにいないことが多いので、そういった中で、電話なり何なりとなると、やっぱり健康課の課長なり、担当職員がいますので、そちらのほうに連絡していただくのが一番……。

○南会長 例えばメールアドレスを、みんなが閲覧できるようなメールアドレスにさせていただいて、宛名は部長さんかもしれないのですけれども、みんなが処理するという形もとれるんじゃないでしょうか。ただ、個人の今のアドレス以外に、食育の……。

○柿崎委員 基本的に個人というのはないので。

○南会長 ないのですか。

○柿崎委員 私自身のというのはいないんです。役職としては……。

○南会長 では、ほかの方もみんな閲覧できるわけですね。

○柿崎委員 健康課の直接のやつがあるので、そこに送っていただければ……。

○南会長 そうしたら、ほかの方が処理すると思うんです。私の大学などではそうですから。

○鈴木委員 来たのに分けたところに言えるという。

○南会長 そういうことを目指しているわけですね。

○雀部委員 まだ目指すんですね。

○南会長 今まで、こういうことを知りたいのだけど我慢していたのを、最初の一步として、どこに聞いたらいいかを聞く窓口としてコーディネータをつくっているわけですから、よろしいんじゃないかと思うんですけれども、いかがでしょうか、事務局側の方として。

○平岡主査 一応、今、ご意見が、福祉保健部長ということで出たんですけれども、窓口としては一旦、その補佐的な役割として、健康課のほうで対応をしていくことになるのかなと考えておりますので、食育に関するご相談等、何かありましたら、まずはご一報いただければと思います。

○南会長 ありがとうございます。

では、先ほどほとんど手が挙がりましてので、お願いしてよろしいでしょうか。

( 拍 手 )

○南会長 では、何か一言、お願いしたいのですが。

○柿崎委員 そうしましたら、改めまして、食育コーディネータに任命を受けました福祉保健部長の柿崎でございます。初代ということですので、これが私の次の福祉保健部長につながっていけるようにしていきたいなと思っております。

先ほどから、いろいろご意見、ご提案をいただいている中で思ったのは、先ほども話したとおり、点でしかなかったものを、その点と点をどうつないで線にしていくのか。小金井市内の大きな輪ができ上がって、その中心に、私が食育コーディネータとしているというのが一番の形かなと思っております。

あと、ちょっと違う話ですけども、先ほどの提言の中でも、(5)で高齢者の食育の強化というところが出ていまして、私の所管部署の中の一つに介護福祉課という、高齢福祉を担当する部署がございますので、そこも密接な関係を持っていかないと、今後、皆さんもご存じだと思いますけれども、2025年に75歳以上の高齢者がたくさん増えるということで、その人たちを、いかに元気に長く生きていただくかということは、今、介護福祉課のほうも、私のほうの部署の一つの大きな問題にもなっていますので、そこにも大きく食育というのは絡んでくるかと思っておりますので、皆様のご協力を得ながら、微力ではありますが頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。(拍手)

○南会長 どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

では、コーディネータの任命に関する事務手続は、事務局のほうで進めていただきたいと思います。

そのほかにも、委員の皆様から何かありますでしょうか。

今日、配られたパンフレットについて、説明や解説をしていただける方がいたらお願いしたいのですが、まず、渡辺委員から。

○渡辺委員 JAの渡辺であります。両面刷りの、ちょっと見づらいんですけども、まだ内部文書で、皆さんに本来お知らせできるようなものではないんですけども、今年度も小金井市の農業祭が開催されます。11月14日・15日で、14日が午後1時から午後4時、15日に関しましては9時半から午後2時半までという形で開催されます。

場所は、ご存じかと思いますが、イトーヨーカドー前のフェスティバルコート、去年はそこで行ったんですけども、今年度は、宮地楽器ホールを会場として使用します。形としては、おとしままでの形に戻ったということになります。

ほかの内容的にはほぼ同等になるんですけども、今年はちょっとスペースもありますので、イベントも開催されますので、よかったら見ていただければと思います。

また、昨年と変わったところが、まだこちらのほうも本決まりではないんですけども、「大ホール」

という欄が1ページ目の2段目にあると思うんですけども、農業絵画コンクールというものが行えればなと思っています。内容的には、まだこちらは、あさっての校長会があるかと思うんですけども、そちらでもう一回諮ってもらおうということになっています。

市内の小学生に農業に関する絵を描いていただき、応募いただき、賞というのも変なんですけれども、市長賞、農協の組合長賞みたいなものをつけられればなと思っています。教育の一環として農業というものに興味を持っていただくということが目的になっていますので、皆さんのほうからも声がけいただければと思います。こちらも市報のほうにも案内されると思いますので、周知していただければと思います。

今現在、まだそういう状況なので、細かい紹介はできないんですけども、徐々にこちらのほうの案内文書等もでき上がってくると思います。

また、昨年来、学校さんのほうにも協力いただきまして、農業祭のポスターというものを学校のほうに張らせていただくようになりました。まことにありがとうございます。今年もまたお願いに上がればと思っていますので、ご検討いただければと思います。

農業祭に関してはそのような内容になっていますので、ぜひご協力をよろしく願いいたします。

以上です。

**○南会長** ありがとうございます。

では、次のリーフレットで、緑色の「江戸東京野菜かわら版」というものを、酒井副会長から。

**○酒井副会長** こちらは経済課が発行しているものなのですが、今年度から年4回発行するというところで、私と松嶋さんが参加しております、江戸東京野菜でまちおこし連絡会のかわら版編集班というところがつくったもので、これは第1号です。

この後、2、3、4と年度内につくる予定にしております、江戸東京野菜の普及ということで、今回は、農家さんと料理人さんをつないで、対談をしていただいて、その中で、江戸東京野菜のよさとか、農家さんの苦労話とか、いろいろなものを聞いて、一般の方にも、江戸東京野菜はこんなものだよ、江戸東京野菜をつくっている人はこんな人だよ、料理をしている人はこんな人ですよということでご紹介をしていこうということで、表面はそうなってまして。

裏面のほうは、江戸東京野菜って何なのということで、一番最初に解説が入っております、これは松嶋委員のものが載っています。その後、私のレシピを載せさせていただいております。それから、皆さんご存じかどうかわからないんですけども、江戸東京たても園の中に、「かわいい畑」というのがありまして、そこで江戸東京野菜を栽培しております。現在も栽培しているんですが、その現在の状況とか、どんなものをつくっているということのお知らせが載っていますので、また随時、発行があり

ましたら申したいと思いますので、お時間があるときに読んでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○南会長 ありがとうございます。

では最後に、健康課からの案内をご説明いただけますか。

○田中主事 健康課の事業案内なのですが、若年層を対象とした健康教室のご案内をお配りさせていただきました。

5月に、運動を中心とした内容で開催したところなのですが、今回、9月26日に、栄養を中心とした調理実習の概要も含めた内容になっております。若年層で40代以下、20歳から30代の方を対象にということで募集しますので、ちょっと集まりが伸びないかなということが予想されますので、ぜひ、お近くに対象の方がいましたら、委員の皆様におかれましても周知のほど、お願いいたします。

○鳥羽委員 7月にあった食育のイベントなんですけれども、内閣府から出している食育ガイドがありますので、中に、「食べること」は「生きること」ということで、内容がいろいろ盛りだくさん入っておりますので、一部の委員の方には配って、持っていらっしゃる方もいらっしゃるんですけれども、まだ7部ほどございますので、欲しい方はぜひよろしくお願いいたします。こちらに置いておきますので、よろしくお願いいたします。

○南会長 ほかに何か、これは言いたいということがありますでしょうか。

ないようでしたら、本日の議事は以上ということなのですが、よろしいでしょうか。

最後に、次回開催予定について、事務局のほうからお願いいたします。

○平岡主査 次回開催予定についてですが、10月中旬から11月にかけて、平成27年度第3回の会議を開催させていただき、審議会としての今期の提言を行えればと思っております。

詳細な日程につきましては、幾つか候補日をお送りさせていただきまして、参加できる方の多い日程での開催をさせていただきたいと思っております。

以上です。

○南会長 ありがとうございます。

事務局から説明のあった流れでよろしいでしょうか。

その準備で、段取りで進めていただきたいと思います。

もう何回も言いましたけれども、今日の会議で、あのときは思いつかなかったけれどもというようなことがありましたら、9月25日までに事務局までお願いします。

それから、最初に言いました、前回の会議録で、訂正をされた方、訂正どおりになっているかどうか確認されましたでしょうか。確認されていない場合は、確認していただいて承認していただきたいと思

いますけれども、皆さんよろしいですか。

では、承認していただける方は挙手をお願いします。

(承認者挙手)

○南会長 では、事務局のほうで情報公開をしてもらいたいと思うのですが、もし、まだちょっとチェックしていないという方がいましたら、今、残っていただいて、チェックしていただいて、訂正があったら、今日のうちに事務局のほうにお願いいたします。

ほかによろしいでしょうか。

では、以上をもちまして、平成27年度第2回小金井市食育推進会議を終了したいと思います。皆様、どうもお疲れさまでした。

— 了 —